



2014 ~ 2015
年度



THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA NORTH

越谷北ロータリークラブ

例会日:毎週水曜日 12:30~13:30

例会場:越谷市千間台東 1-1-6 クオレ千間台 2F

T E L 048(975)9898

F A X 048(977)3741

創 立:1976年5月11日

会 長 : 松 崎 義 一

副 会 長 : 中 村 義 雄

幹 事 : 小 宮 山 大 介

会報委員長 : 関 雄 二 郎

第 1890 回-1891 回例会記録 No.21

平成 27 年 1 月 14 日 職場見学 1 月 21 日

司会 : 市川 洋和 編集 : 長谷川 真也

会 次 第

1. 点鐘
2. ロータリーソング
「我等の生業」
3. 会長卓話
4. 幹事報告
5. 3分間ロータリー情報
6. 委員会報告
7. スマイル報告
8. 会員卓話
鈴木 英男会員
9. 出席報告

会長卓話



会長 松崎 義一

会員の皆様こんにちは、本日は、ロータリーの誕生について、卓話をさせていただきます。

ポール・ハリスは、若いころ、5年の予定で、放浪生活をしてきたことは、ご存じの方も多と思います。予定の5年に、3か月を残していたころ、弁護士事務所を開くためにシカゴにやってきたのですが、ポール・ハリスは、故郷のニューイングランドの谷間の緑や野原、心優しい昔の友人たちを忘れられずにいたのです。ある晩、同業の友人に連れられて、郊外の彼の家を訪れました。夕食後、近所を散歩していると、友人は、店の前を通るごとに、店の主人と名を呼んで挨拶するのです。これを見ていて私は、ニューイングランドの私の村を思い出しました。そのとき浮かんだ考えは、どうにかしてこの大きなシカゴで、さまざまな職業からひとりずつ、政治や宗教に関係なく、お互いの意見を

次回例会案内 平成 27 年 2 月 4 日

結婚・誕生祝い

越谷北ロータリークラブ

「広げましょう 奉仕の輪」

ホームページアドレス

2014-2015 松崎義一会長 提言

<http://koshigayakitarc.dyndns.org/>



ひろく許しあえるような人を選び出して、ひとつの親睦関係をつくれぬものだろうか、ということでした。こういう親睦関係ができれば、必ずお互いに助け合うことになるはずで、このときが、ロータリーの基礎となるインスピレーションを得たときなのではないでしょうか。しかし、彼はすぐにその考えを実行に移すことはしませんでした。その理由について、ポール・ハリスは、大きな運動を生かすためには、信念をもった人が、しばらくひとりで歩くことが必要なのです。ポール・ハリスは、ほんとうにひとりで歩きました。

ユニティ・ビル711号室であげた産声

それは、1905(明治38)年2月23日。この頃は、自動車がよく実用化の段階に入ったばかりで、まだ馬車の方が幅を利かせており、飛行機もそれより約1年ばかり前、ライト兄弟によって発明されていたが、ほんの2～3分間空に浮かぶことができるという程度であった(日本でいえば、日露戦争の終わった年にあたる)。

この年の2月23日の晩、米国イリノイ州のシカゴで4人の職業人が、デアボーン街にあるユニティ・ビルの711号室に集まった。4人というのは、弁護士のポール P.ハリス、石炭商のシルベスター・シール、鉱山技師のガスターバス E.ローア、洋服商のハイラム・ショーレーである。“ガス”ローアの事務所であるこの部屋は狭く、机が1つとあまり掛け心地のよくない椅子が4つ置かれているほか隅に洋服掛けがあり、壁には写真が1～2枚と工事関係の図表が掛かっている。当時のありふれた事務所であったようだ。4人は、ポール・ハリスが過去5年の間あためてきたアイデアについて語り合った。簡単にいうと、お互いの事業あるいは職業上の結び付きを通じて、友好的交友関係を築くことができるはずであり、またそうすべきであるというのである。仕事の上での関係が、友情の妨げとなることはない、ポールは考えたのである。711号室で語り合った4人は、話が進むにつれ、職業を通じて結ばれた関係は、個人的な友情に発展させることができる

し、またそうすべきであることを、お互いに一段と深く認識し合ったのである。そして、さらに話し合いを続けた結果、このような交友関係をはぐくむためには、何らかのクラブをつくるのが一番良いという結論に達したのであった。ロータリークラブという名称は、このとき、その場で決められたわけではなかったが、実質的には、1905年2月23日の晩に開かれたこの会合が、世界最初のロータリークラブの第1回の会合となったのです



事務所(ユニティ・ビル711号室)

ロータリーのはじめの4人

左から、ガスターバス E. ローア……鉱山技師……
シルベスター・シール……石炭商
ハイラム E. ショーレー……洋服商
ポール P. ハリス……弁護士

幹事報告



幹事 小宮山 大介

地区より

埼玉フォーラム『平和といのちこそ』2/17
(火)13:00～16:20 さいたま市文化センター
スピーカー 銀座新 RC 日野原重明先生
元池袋 RC 宝田明さん

越谷北ロータリークラブ

「**広げましょう 奉仕の輪**」

ホームページアドレス

2014-2015 松崎義一会長 提言

<http://koshigayakitarc.dyndns.org/>



上期収支決算が理事会にて承認されました。

お客様挨拶



第 8G ガバナー補佐 浅水 尚伸様
IM 実行委員長 小林 光蔵様

本日は、IM のキャラバンに実行委員長小林光蔵さんと伺いました。2月12日(木)ベルヴィギヤザホール 13時登録開始です。大勢の方の参加をお願いします。



韓国 3750 地区研修生

ゴ・ジュンホ様 ハン・マンギョム様 カン・ジェフ様
通訳 ミンスー様
各自、日本語で挨拶がありました

3 分間ロータリー情報



一柳 昌利会員

2015年7月からの特別月間について

国際ロータリー理事会は、2014年10月開催の第2回会合で、ロータリーの特別月間を、重点分野を強調して2015年7月からの特別月間は、次の通りです。

- 8月: 会員増強・拡大月間
- 9月: 基本的教育と識字率向上月間
- 10月: 経済と地域社会の発展月間
- 11月: ロータリー財団月間
- 12月: 疾病予防と治療月間
- 1月: 職業奉仕月間
- 2月: 平和と紛争予防／紛争解決月間
- 3月: 水と衛生月間
- 4月: 母子の健康月間
- 5月: 青少年奉仕月間
- 6月: ロータリー親睦活動月間

なお、10月のもう一つの特別月間「米山月間」は、日本独自に設定しているため、従来通りで変更はありません。

委員会報告

青少年奉仕委員会 委員長 今井 英治
1/10～1/15まで韓国 3750 地区の男子 3 人を受け入れています。松崎会長の自宅にて、滞在しています。明日、帰国の予定です。

職業奉仕委員会 委員長 大濱 裕広
1月21日に開催する、職場見学は、北越谷駅西口 7時30分集合です。



会員卓話



鈴木 英男会員
ポラスグループ代表
故・中内俊三社長について

私は昨年、越谷市倫理法人会から、越谷市倫理法人会の初代会長を務めたポラスグループの創業者で、亡くなられた中内俊三社長について話をしたいと言う依頼があり、昨年の10月3日の「経営者モーニングセミナー」でお話をさせて頂きました。

当クラブから松崎会長を初め、幾人かの方が出席して下さい、その時の話を聞いて、松崎会長から「クラブでもお話をするように」と依頼され、今日の卓話になったわけです。私は金融機関に20年余り、ポラスグループに30年余り勤めさせて頂きましたが、中内社長との出会いがなかったら、恐らく私は金融機関で、60歳で定年を迎えていたと思います。中央住宅、そしてポラスグループの創業者で、「南越谷阿波踊り」をも始めた中内俊三社長は、平成17年6月10日に他界されました。享年67歳でした。その前の平成11年1月24日、日曜日の朝、「くも膜下出血」で倒れ直ぐに救急車で病院に搬送されました。以後療養を続け、一日も早い回復を願っていましたが、残念ながら中内社長の回復を見ることは出来ませんでした。

私が中内社長と初めて出会ったのは、昭和42年(1967年)、埼玉縣信用金庫の草加支店で、融資係を担当していた時です。ある時、私の融資カウンターの前に小太りの方が座ったのです。私は、その人を

見てびっくりしました。と言うのは、良くバナナの叩き売りをやっているのを見掛ける人だったからです。この人が、後に中央住宅の代表取締役になり、そしてポラスグループの代表になられた中内俊三社長だったのです。そして、私との初めての出会いでもありました。この当時、中内社長は四国徳島からボストンバッグ一つを持って上京し、バナナの叩き売りをやっておりました。私が一日の仕事を終え、同僚とちよっとお酒を飲んで帰ることがありました。私は最寄りの「大袋」駅を夜の10時、11時頃に降りますと、駅の傍らで古い小さな車の荷台に乗り、捻りハチマキをして、大きな声を出し、一生懸命にバナナを売っている人を良く見掛けました。私は、『こんなに夜遅くまで、随分仕事熱心な人だなあ』と思い、何時も見ておりました。

私もバナナを買った事があります。買ったバナナは綺麗な包装紙に包むのではなく、新聞紙にくるくると巻いて「どうも有り難う」とう感じでした。

中内社長は、社員の前で、良くバナナを売った当時の話をされました。そして「商売の基本は、バナナを売ることによって学んだ」とも言っておられました。『その日の内に仕入れたバナナは、その日の内に売ってしまう』と言うのが、中内社長の商売の鉄則であったようです。その人が、今、私の融資カウンターの前に座ったのです、坊主頭で半ズボンをはき、雪駄を履いておりました。私が「バナナ屋さんでしょ、良く見掛けますよ」と言いますと、先方もビックリしておりました。

話を聞いて見ますと「不動産業を始めるについて、どうしても40万円の資金が必要なので貸して欲しい」と言うのです。話を聞いても、私どもの金融機関と取引はありませんし、担保などありません。本来なら到底、融資の相談に乗れる話ではありません。でも、私は夜遅くまで、一生懸命にバナナを売っている姿を何度も見ておりました。あんなに夜遅くまで一生懸命に商売をしているのだから、この人であれば融資をしても返済は間違いはないだろうと思い、私は上司、支店長に事情を説明し、「何とか融資をして頂きたい」とお



願いをしました。しかし、上司、支店長からそんな簡単に融資の OK が出る筈がありません。でも、私は夜遅くまで一生懸命にバナナを売っている様子、仕事への情熱について真剣に、繰り返しお願いをしました。最初、首を振っていた上司、支店長も、最後に「鈴木さんがそこまで言うのであれば……」と言う事で、40 万円の融資をすることになったのです。当時の 40 万円、今の金額に直しますと、400 万円位になるかと思えます。私も、夜遅くまで一生懸命にバナナを売っている姿を見ていなければ、融資はお断りしていたと思います。私は、このようにして 40 万円を融資したものの、果たして返済して貰えるだろうか、心配でたまりませんでした。でも、中内社長は 1 週間から 10 日おきに返済に見えるのです。この 40 万円をどの位の期間で融資したのかは、私も憶えておりませんが、全額期日前に返済になった事は確かです。私は、この 40 万円を融資して、暫くして中内社長から初めて聞かされました。『鈴木さんが担当して 40 万円融資してくれた時、実はその前に草加市内の金融機関を 5 カ所程廻ったのだけど全部断られてしまった』そうです。そして、最後に行ったのが埼玉縣信用金庫で、あの時 40 万円融資してもらった時は嬉しくて涙が出てしまい、家に帰って奥さんと一緒に喜んだそうです。これで、「この地で不動産を遣っていけると言う自信がついた」と言っておられました。そして、中内社長は、「あの時 40 万円融資して貰えなかったら、自分はもう不動産業は諦め、四国に帰って農業や果樹園をやるつもりだった」と言う事を初めて聞かされました。中内社長は、40 万円の融資を受けていなかったら、本当に四国に帰っていたかも知れません。そうしますと、この地に中央住宅と言う会社、そしてボラスグループは存在していなかったかも知れません。また、毎年 8 月に行なわれている「南越谷阿波踊り」も、開催されていなかったかも知れません。でも、中内社長のことから、仮に四国に帰っていたとしても、私は不動産以外の他の分野で成功していたと思います。中内社長

は、徳島県立板野高校の農業科を卒業しております。大学も出ておりません。ただ、高校の時には生徒会長をやるなど、成績はかなり優秀であったようです。この当時、中内社長は、東京都足立区の狭いアパートに奥さんと子供たちで住んでおりました。そして、自分の住まいを持つ事を目標にしておりました。そんな時、「東武線の新田駅東口に購入した狭い土地に二階建ての建物を建てたいので、今度は 70 万円融資して欲しい」と言う依頼がありました。私は、前に融資した 40 万円がキッチンと返済されていましたので、何ら問題なく埼玉縣信用金庫が窓口になって住宅金融公庫の融資をさせて頂きました。土地は 20 坪足らずの狭いところに、2 階建の建物を建て、1 階を事務所、2 階を住まいとして使うようになりました。そして、中内社長は念願であった住宅を手にする事が出来たのです。そして、後にここが中央住宅発祥の地になります。

中内社長は、昭和 44 年(1969 年)7 月に資本金 10 万円で『有限会社中央住宅社』と言う会社を設立し、代表取締役になられたのです。社長が 31 歳の時でした。この『中央住宅社』の中央と言う名前は、「常に住宅産業界の中央に位置したい、そして住宅産業界で燦然と輝く北極星のようになりたい」と言う中内社長の思いが有って「中央」と言う名前が付けられたのです。このようにして、埼玉縣信用金庫と中央住宅の取引は、徐々に拡大していきました。そして、私は、昭和 49 年(1974 年)4 月に草加支店から大宮支店に転勤になりました。私が大宮支店に転勤になると同時に、中内社長から「鈴木さん、中央住宅に来て、管理部門を指導してくれないか。管理部門が弱くて困っているんだ」と言う話がありました。私は金融機関を辞める理由は何もなかったのですが、断り続けてきましたが、最後は中内社長の熱意に負け、私は埼玉縣信用金庫を退職し中央住宅に移りました。昭和 58 年(1983 年)6 月、私が 45 歳の時でした。私はこのようにして中央住宅に移りましたが、随分戸惑いもあり、



苦労もありました。私は中内社長が「くも膜下出血」で倒れた後、病院・自宅に何度も訪問しました。四国からボストンバッグ一つを持って上京し、バナナの叩き売りをやりながら会社を創り、グループの売上高 1,000 億円にまでした社長が何故倒れ、社長一人が苦しまなければならないのかと思った時、私は涙で社長の顔を見ることが出来ませんでした。そして、社長の看病が一番大変だったのは、奥様であったと思います。私は奥様の言葉にも心を打たれました。奥様は「主人が元気な頃は、毎日毎日が仕事で忙しく帰日も遅く、一緒に夕食を摂ることは殆どなかったんですよ。又、二人で落ち着いて会話をする時間もありませんでした。でも私は、今は毎日こうして主人の傍にいて看病が出来、私は今が一番幸せです」とおっしゃるのです。私は、奥様のこの暖かい言葉に心を打たれました。また、社長もどんなにか気持ちが休まったことでしょう。

中内社長が亡くなられた後に、秘書が社長の机の引き出しを整理しておりましたら、奥の方から『中内商店中内俊三』と書かれたゴム印が出てきたのです。このゴム印は、中内社長がバナナを売っていた時に使っていたゴム印です。このゴム印を机の引き出しの奥の方に大事に保管していたのです。そして、社長なりに大変な苦しい事があると、恐らくそのゴム印を見ながら苦しかった創業当時の事を思い、社員、社員の家族ため、そして職人さんの事を思い、身を粉にして頑張ってきたに違いありません。次に、「南越谷阿波踊り」について少しお話させていただきます。昨年は 30 回目の節目の年を迎え 8 月 22 日(金)が前夜祭、23 日(土)と 24 日(日)が本番で開催されました。昨年は、踊りに参加した連が 78 連で、踊り手が 6,000 人、観客が延 70 万人と報道されております。この阿波踊りを始める前は、草加、越谷の 7 カ所位で、中央住宅が主催し毎年盆踊りを行っておりました。これを一つに纏めたのが「南越谷阿波踊り」です。何時も建築工事で迷惑を掛けている地域の皆さんに、恩返しをしたい

と言う中内社長の思いがあつて南越谷で始められたのです。当初は観客も少なく運営も大変でした。流し踊りの会場も、今は西口にまで広がり 4 つの会場が流し踊りの演舞場として、道路の両側は観客で埋めつくされております。越谷コミュニティセンターの大ホールと小ホールでは、毎年舞台踊りも開催され、通路まで観客で歩けないほどです。阿波踊りは毎年、全国各地で開催されていますが、一番が徳島の阿波踊り、二番が東京の高円寺、そして三番目が南越谷の阿波踊りで、日本三大阿波踊りとまで言われるようになりました。また、一昨年(2013)の 7 月 26 日には、南越谷駅の所に「南越谷阿波踊り」のモニュメントが出来、除幕式が行われました。今後このモニュメントが待ち合わせの場所になったり、また多くの市民に愛されていくものと思います。



スマイル報告



- IM へのご参加宜しくお願いいたします
浅水尚伸
- IM 宜しくお願いいたします
小林光蔵
- おじゃまします
深井良孝
- 第 8G ガバナー補佐浅水様パストガバナー補佐
深井様 IM 実行委員長小林様第 3750 地区研修生
の方よろこそ
松崎義一
- 鈴木会員本日の卓話宜しくお願いいたします
小宮山大介
- 第 8G ガバナー補佐浅水様パストガバナー補佐
深井様 IM 実行委員長よろこそお越し下さいました
鈴木会員卓話楽しみです
青木 清 稲垣勝三 一柳昌利 岡崎 勲
大熊正行 小林 操 関森初義 中澤伸浩
中村義雄 堀野眞孝 宮崎敏博
- 韓国の研修生よろこそ
今井英治
- 明けましておめでとう
青木 清
- 本日も宜しくお願いいたします
高 瑠美子
- 鈴木英男さん卓話御苦労さまです
鈴木由也

越谷北ロータリークラブ

「拡げましょう 奉仕の輪」

ホームページアドレス

2014-2015 松崎義一会長 提言

<http://koshigayakitarc.dyndns.org/>



- ・堀野さん、昨日はお世話になりました **長谷川真也**
- ・長い間腰痛で苦勞していましたがいよいよ手術をする事になりました。2 週間ぐらいで退院できるとのことです **石井知章**
- ・世界平和の為に **本間 孝 末木照久**
- ・本日早退 **小山哲史**
- ・先週欠席 **黒田幸英**
- ・本日欠席申し訳ありません **松井昭夫**

未来を見つめるために、今回欠席の会員の方は、是非一度訪れてみてください。



予科練平和記念館

会員数	55 名
出席免除者	11 名
出席者	44 名
欠席者	11 名
出席率	90.9 %

出席報告



職業奉仕委員長 大濱 裕広

おつかれさまでした

1891 回例会

職場見学 予科練平和記念館

筑波宇宙センターJAXA

平成 27 年 1 月 21 日(水)



会長 松崎 義一

予科練平和記念館とJAXA筑波宇宙センターへ、職場見学に行きます。茨城県阿見町にある予科練平和記念館とは、戦争の歴史とその時代に海軍パイロットを目指した少年達の日常やさまざまな思いを知ることができる、貴重な記録の残る場所です。予科練とは、海軍飛行予科練習生のことで、今の中学2年生から高校生ぐらいまでの少年が夢と希望を持って入隊し、卒業生の約8割が特別攻撃隊をはじめ、日本本土を守るために亡くなりました。過去を知り、平和な



筑波ハムにて買い物

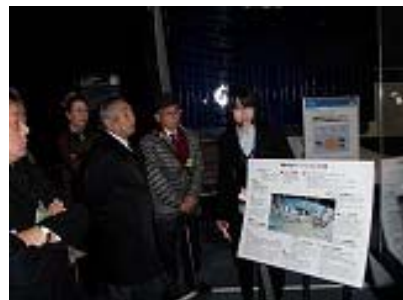


昼食は、すき焼きでした

筑波宇宙センターは筑波研究学園都市の一面に



あり、1972(昭和47)年に開設しました。約53万平方メートルの敷地(東京ドーム 12個分)に、研究学園都市にふさわしい緑ゆたかな環境と最新の試験設備を備えた総合的な事業所です。このセンターは、人工衛星やロケットなど将来の宇宙機の研究開発や開発試験、そして打ち上げた人工衛星を追跡管制するわが国のネットワークの拠点として重要な役割を担っています。さらに国際宇宙ステーション計画に向けた「きぼう」日本実験棟の開発や試験、宇宙飛行士の養成などを行っています。筑波宇宙センター外観 現在こちらには、宇宙輸送ミッション本部、第一衛星利用本部、研究開発本部、有人宇宙ミッション本部、宇宙科学研究本部の一部があり、宇宙開発の最先端分野の研究・開発・試験を行い、日本の宇宙開発の中核センターとして多彩な活動を行っています。



職員の方に説明を聞きました



模型の地球



ロケットの前で記念写真



太田会員宇宙服装着



館内パンフレット



青少年奉仕委員会報告

第 27 回インターアクト協議会
3750 地区韓国インターアクト訪日
平成 27 年 1 月 10 日 - 1 月 15 日



今井青少年奉仕委員長お疲れ様でした



松崎会長有難うございました

韓国の学生の自己紹介と学生からみた日本

2015 年 1 月 14 日



こんにちは。

私は韓国京畿道平澤市から来た振威「ジンウィ」高校 3 年生ゴジュンホ(一番右の学生)と申します。よろしくお願ひします。

今年で高校 3 年生になり、入試が目前にあるので日本に行くのを最後まで考えましたが、今は日本に来て本当に良かったと思っています。海外に出るのは今回が初めてで、他国でホームステイをするのも少し不安でしたが、松崎さんが家族のように優しくしてくれたお陰さまでそんな心配は無用でした。短いところでしたが、松崎さんとお母さん、ユリコお姉さん、マサルお兄さん、おじいさんとロタリアンの皆さんに感謝の言葉を差し上げます。また、親切にしてくれた 2770 地区の友達にも感謝の言葉を伝えます。浅草寺と商店街通りが最も記憶に残ります。日本ならではの風習と文化などを近くで見ることができた意味ある時間でした。私の夢は将来私学財団を設立することです。

困難な事情があつて彷徨する青少年たちが夢を諦め



ないように学校を設立したいです。

しかし一人で学校を設立するのは難しいと思い、将来夢を達成できる仲間を探そうと思っていました。このような漠然とした心で始めた私の歩みは、国際交流と文化体験でした。

今回の日本訪問は、何よりも大きな夢を見られる機会を提供してもらってとても意味のある時間だったと思いました。いつか私も社会で成功し、他の子供たちにもこのような機会を与える人になるように頑張っていきたいと思っています。

こんにちは。

私は韓国京畿道平澤市から来た漢光 (ハングァン) 高校 2 年生カンジェフ(一番左の学生)と申します。

よろしくお願いします。

私は今回の訪日団に初めて選ばれた時は何も知らない他の国で 5 泊 6 日間行くという事実が本当に不安でした。

しかし、ホームステイ先の松崎さんと家族の方々が本当の家族のようにしてくれましたので安心しました。後、日本の友達も親切にしてくれたので 5 泊 6 日間、本当に楽しいでした。浅草観光と浅草商店街で食べた大学芋やお菓子などもすごく美味しかったです。

又、松崎さんとボーリング、ディズニーランド、日本の友達との出会いで、すごく良い思い出になりました。

しかし、日本の友達は私に近づき、気を配って親切にしてくれたのに私は人見知りの性格でその友達と近づいて話すことができなく、自分の感情表現ができなかったのがすごく残念でした。

それでも 3 月に日本から友達が韓国に来たら、その時は私が積極的にその友達に近づけて韓国の文化などを案内したいと思います。

今回の日本旅行は韓国に帰りたくないほど楽しくて幸せな旅行でした。こういう機会を提供してくれたロータリーの方々に感謝します。

私も成功してこのような機会を他人に与えることができる人になるように努力しなければならないと考えた

意味深い旅行でした。

こんにちは。

私は韓国京畿道平澤市から来た玄華「ヒョンファ」高校 2 年生 ハン ミンギョムです。「真ん中の学生」よろしくお願いします。

これから心を入れかえてまじめに勉強をしなければならぬ時期に最後の旅行だと思い、日本に行くことを決めました。

この機会を提供してくれたロータリー会員の方々に感謝いたします。私は日本に来てこういうことを感じました。日本は道がとてもきれいで人々も親切でした。

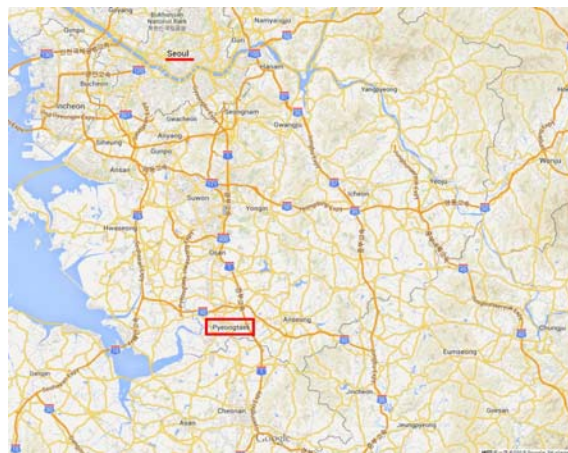
それで日本が好きになり、機会があればまた日本に遊びに行きたいと思いました。

ホームステイ場所を提供してくれた松崎さんとホームステイする間に優しくしてくれたお母さん、ユリコお姉さん、マサルお兄さん、おじいさんにとっても感謝します。

松崎さんはまるで自分のお父さんだ思うくらい日本の文化をわかりやすく説明してくれたので日本の文化について理解する事ができたと思います。

短い間でしたが、本当にありがとうございました。

また遊びに行きます。



* 四角に囲まれているところが学生たちが来た 平澤 (ピョンテッコ) です。